



鹿児島県

奄美パークだより

VOL. 15

1



周年
記念イベント 他



目 次

- 1 目次内容 & 多目的広場、年間パスポートのご案内
 - 2 開館10周年記念特別企画展「風の島から」
 - 3 開園10周年記念イベント(10月8日・9日・30日)
 - 5 第1回奄美ケンムンふえすた
 - 7 奄美パーク応援隊のお知らせ
 - 8 わきや島自慢(徳之島)
 - 9 群島トピックス(奄美大島、喜界島、沖永良部島、与論島)
 - 11 奄美パークのイベント紹介(平成22年4月～23年3月)
 - 13 P Aさんのヨコガオ(パークアテンダントの紹介)
 - 14 奄美パーク職員紹介

ボクネン木版画展「風の島から」



草木再生 2006年

平成23年10月8日(土)から11月13日(日)にかけて、田中一村記念美術館開館10周年特別企画展としてボクネン木版画展「風の島から」を開催。

ボクネン(名嘉睦稔)氏は沖縄県伊是名島出身の木版画家で、自然をテーマにした作品を多く制作している。下絵をほとんど描かずに瞬時に浮かんだものを即興で彫るという制作スタイルが特徴。これまでに1800点を超える作品を手掛けている。

今回の展示会では1988年から2011年までの作品合計35点を展示し、開催期間中3911名の来場者がボクネン氏の作品世界を堪能した。

NAKAMURA YOKUNEN



- 1953 沖縄県伊是名島に生まれる。
- 1967 独学で木版画の制作を始める。
- 個展 1996 プティミュゼ美術館(東京)
- 1998 伊勢丹美術館(東京)
- 1999 明治神宮(東京)
- 2000 ニューヨーク Avoran Gallery
スペイパラガーデン(東京)
- 2001 東大阪市民美術センター
- 2004 浦添市美術館(沖縄)
- 2008 思文閣美術館(京都) 他多数
- 2009 日本文化デザイン賞受賞
- 2010 ドキュメンタリー映画「地球交響曲第四番」出演(龍村仁監督)
- 2006 平成18年度中学校用教科書「美術」に作品掲載
- 2007 文化庁文化交流大使に任命
- 著書 2003 漫画『紅蓮黒達の刻』(ヤングマガジン)
- 2004 「海のふた』
(よしもとばなな:文/名嘉睦稔:画) (ヨウイグサ)
- 2010 ボクネン美術館開館



展示室風景①



展示室風景②

ボクネン氏の作品は沖縄の自然や風景を多くテーマとし、黒で刷った絵に鮮やかな裏彩色が施されている。版画とは思えないほど色彩豊かな作品に観覧者誰もが心を奪われていた。ガラスケース内に展示した220cm×200cmの大作「森を育ぐ」「伊集乃花竈」「桜乃花竈」「大太陽」の4点は圧巻の迫力で、特に観覧者の目を惹きつけていた。

また展示室内にテレビを設置し、ボクネン氏が出演した龍村仁監督のドキュメンタリー映画「地球交響曲第四番」を上映。「ボクネンさんの創作過程がわかり、感動が倍増した」と話す人や、長い間静付けになって見ている人も多く、好評だった。

観覧者の感想として「生命力に満ち溢れています。いつまでも見たいと思いました」「自然に対する愛情を感じます」「エネルギーと温かさとやさしさを感じます」「まるでそこに自分がいるかのようなにおい、風、空気を感じて、ただただ感動しました」と感動の声がたくさん寄せられ、大盛況の展示会となった。



平成23年10月8日(土)に初日を飾るオープニングイベントとして、ボクネン氏を招き「ボクネンズ・アートトーク」を開催。

ボクネン氏は「伊是名島と奄美がとても似ていて驚いた。やはり沖縄と奄美は兄弟島である」と奄美に降り立った印象を語った。また「絵はどこにでもあるもの。自分はその一部をいただいている」と独特の感性で作品に対する思いを表現した。

会場にはボクネン氏ファンや沖縄出身者など、120名が訪れ、真剣な眼差しでボクネン氏が話す言葉ひとつひとつに耳を傾けていた。

奄美パーク開園10周年記念イベント

池上 彰 講演会

2011.10.9

1950年長野県生まれ。

慶應義塾大学卒業後、73年にNHKへ入局。94年から11年間出演した「週刊こどもニュース」で話題に。

2005年3月にNHKを退局し、現在はフリージャーナリストとして、東京工業大学教授として多方面で活躍中。



演題

「日本の復興を
歴史から考える」



池上氏がNHK時代に社会部記者として活動していた頃の話や、1994年から11年間担当した「週刊こどもニュース」について楽しいエピソードを交えて紹介。また、最近の海外情勢なども池上さんの経験に基づき具体的にわかりやすく説明していただきました。演題は「日本の復興を歴史から考える」というテーマでしたが、池上さんのわかりやすい解説により楽しい講演会でした。最後に本当の幸せは何かと考えたとき、それは、この奄美大島の暮らしの中にあるのではということで締めくくられ、あっという間の1時間30分でした。

2011.10.8

龍郷町ナツメロ同好会
による歌や踊り



2011.10.9

ご祝辞を戴く



奄美市長 朝山 毅

奄美パーク応援隊に
による六調三線



2011.10.30

萬狂言会



鬼が持った瓶はクイグイと
酒を浴びるようて飲み、し
まいには酔つぱらつて眠つ
てしまふ。鬼が静かにな
なつたので伯母が顎をあげ
てみると甥の太郎でした。
頃にいた伯母は太郎を起こ
して叱りつけます。太郎は
酔つぱらつたまま逃げてゆ
きます。



萩大名の中で大名をつとめた
野村万蔵氏は、息を切らしながら
洋服に着替えてトークショーへ登場
狂言のときの声の出し方などを
楽しく、やさしく実演しながら
観客に教えてくれた。
10周年記念の最終日にふさわしい
華麗なイベントとなった。

酒屋で掌ててゐる伯母のところへ
甥が訪ね、また一度も酒を振舞つて
もったことがないので、何とかし
てお酒を飲ませてもらおうとします
ところが、しかし「チチ」伯母は
あれこれと理由をつけて酒を飲ませ
てくれません。甥は一計を案じ、七
つ下がる（午後四時を過ぎる）と裏
があるから氣をつけるようつに言い置
いてみると、鬼の面をつけて再び伯
母のところへ行きます。気が動転し
た伯母は、鬼にすうとお酒を飲み
せますが……。



ある田舎大名が、都での裁判も妻事片付いたので、都見物をしてから地元に帰ろうと太郎冠者を誘います。二人は清水の觀世音へ参詣する事に決めますが、その途中に萩の花で有名な金屋があるのをそこに立ち寄ることにします。しかしこの茶屋の亭主は妻の和歌好きで、見物客に当座（即席で和歌を詠む事）を必ず所望するとのこと。其教養を大名は習者に歌を教えてもらひ茶屋に行きますが・・

太郎冠者が大名の爲に整えた手はずに今らつてなんとか和歌を詠むことになりますが、太名は歎の最後の部分がどうしても言えなくなつてしまい、「太郎冠者のむこうすね」と叫んでしまつたりで、太恥をかきます。

2011.10.9



奄美高校 土芸能部
による太鼓演奏



篠地俊造 シマ唄



たくさんのご来場ありがとうございます。

第1回奄美ケンレンふえすた

2011. 8. 21

大賞作品



原口 雄一

ホライゾン編集室と鹿児島県奄美パークが主催となり、12の後援、19の協賛の元、第1回奄美ケンムンふえすたを開催いたしました。午後1時30分から4時30分頃まで、ケンムンにつわる多彩なプログラムで実施し、おかげさまで大成功を収めることができました。皆様、誠にありがとうございます。

- プログラム ●
- ケンムン大賞発表式
- ケンムン音頭踊り
- ケンムン紙芝居
- ケンムンソング発表
- 基調講演
- 「ケンムンが語る奄美遺産」
- 「ケンムンとその仲間たちシンポジウム」
- 「ケンムン大賞」イラストシールをバスにラッピング
- 他、ケンムンTシャツ実演販売、ケンムン木製人形の展示等
- やケンムン陶器展示販売、ケンムン木製人形の展示等



最優秀作品の紹介

高校・一般の部



中学生の部



石崎 晋

小学校高学年の部



重村 桜

小学校低学年の部



荒垣 光佑

未就学児の部



萩原 かほ

ケンムンって??

シンポジウムに参加してくださった6人のパネラー達の
ケンムンとの実話(一部)ご紹介~

奄美大島

- ★昭和23年9月下旬、海岸沿いにあった塩焼き小屋で遭遇。身長は60~70cmで、足は長く、体中毛だらけで臭い匂いのするヨダレを垂らしていた。(笠利在住 山田照美さん)
- ★昭和21年9月の夜、枝手久島の岬の下で、ケンムンの親子が貝とりをしていた。(宇検村在住 中條森雄さん)



喜界島

- ★庭で塩焼きをしていると、ガーローが来て、何日も火にあたっていた。毛深くて臭かった。(荒木出身 久義一さん)



徳之島

- ★千摩海岸で、頻繁にケンムンの火を目撃。(天城町出身 藤井博史さん)

沖永良部島

- ★草刈り中、ヒーヌムンに相撲を挑まれた。ヒーヌムンは強く、勝った時には愛嬌のある顔だった。(沖永良部在住 川上忠志さん)

与論島

- ★夜の海で、小さな子どものようなものが、イノウをバシャバシャしながら歩いていたのを目撃。(与論島在住 和田きみ子さん)

ケンムンからのお知らせ♪

大賞を受賞した原口雄一さんの実際にあった不思議な体験談



私が受賞を知ったのは帰省先の鹿屋でした。お母に新聞を見た方から受賞を知らせる電話が来たのですが、その日の晩、5時ごろ、家の中に2羽のツバメが入り込んで飛び回っていました。母が「ツバメは益鳥だから、いいことがある。」と言って追い出さなかったのを覚えています。不思議なこともあります。私はにとっては、ツバメとケンムンが幸せをもたらしてくれるのだと知りました。息子と娘まで喜んでいただぎ、またファミリー賞までいただき、大感激の1日でした。ラッピングバスは謹が抜けそうなほど素敵な出来でバスを抱きしめたいほどでした。最初から最後までケンムンふくすたに参加しましたが、全く飽きることなく、すごく楽しみました。イラストコンクールでは家族で参加できるコンクールだったことが、すごく良かったです。

～原口雄一さんからのお手紙より抜粋～



全国より355点の応募がありました。
奄美パーク内は、たくさんのケンムンに包まれていました。



あなたもケンムンになってみませんか?!
奄美パーク 奄美の郷あしひの庭付近で、撮影出来ますよ!!
思い出の1枚にぜひ どうぞ!

奄美パーク応援隊

奄美パーク応援隊は地域の方々による奄美パークのボランティアサポートです。展示案内ガイド、手熟ガイド、園芸サポーター、一村サポーター（現在休止中）の4つの分科会に分かれそれぞれ得意な分野で活動しています。



■展示案内ガイド

奄美の郷、田中一村記念美術館の鑑賞のポイントや園内の植物など園内の案内をします。わかりやすいと好評をいただいております。

（ガイドを手配する都合上、事前に連絡をいただいている。）



■手熟ガイド

手熟ガイドは、シマ唄や機織りなど実演しながら島の文化を紹介するガイドです。あしひの庭のあまじいの家でシマ唄を唄ったり、団体のお客様を六調で見送ったりととても喜ばれています。



今年度から六調三線を練習するグループができて月に2回練習に励んでいます。今年の奄美パーク開園10周年記念イベントではこの半年間の練習成果を発表しました。

■園芸センター

園芸センターは園内の花壇を整備しています。レストランから見える2階のテラスの花壇にはガーベラやガザニアが咲いておりとてもきれいと評判です。

昨年度は第28回全国都市緑化フェアの協賛会場として「出会いの広場」も整備をし、果樹も植えたので今年は収穫が楽しみです。



一緒に活動しませんか？

応援隊は年度ごとの更新制で、平成24年度の応援隊を募集しています
・奄美パークまで各自で来園可能な方（ただし成人に限ります。）
・奄美の自然、文化、又は美術に興味のある方。
・年2回以上の活動が出来る方
登録された方には隊員証を発行し、この隊員証により奄美パークの有料ゾーンが無料で利用できます。
興味のある方は奄美パークにお問い合わせください。

わきや島自慢

旧奉安殿が国の登録文化財に（伊仙町）



伊仙町には、文化財（遺跡等）が数多く残っていますが、近代化遺跡と呼ばれている旧奉安殿が鹿浦小学校の敷地内に、南に向かって一棟建っています。



奉安殿



旧奉安殿とは、1920年代後半から1930年にかけて、全国の学校敷地内に設置された施設です。当時の皇民化教育の遺構で、奉安殿の内部には教育勅語（わが国の教育の基本方針）と御真影（天皇・皇后両陛下の御写真）が安置されており、扉の開閉は学校長のみが執り行い、白手袋で頭上高く掲げて奉り、子供たちは最敬礼させられました。



銃弾あとが残っている

昭和20年の太平洋戦争の敗戦により、全国の旧奉安殿は次々に崩壊されていきました。それに伴い、伊仙町の各小学校の奉安殿も同じ運命を辿り、現在では鹿浦小学校の校舎裏と高台の相思樹の林の中に戦争中の銃弾の弾の跡を残したままの姿で悠々と一棟たたずんでおり、この鹿浦小学校の奉安殿は、当時としては手の込んだ神殿作りでした。

各学校よりも建設が遅れ、地域の方々や先生、在校生、卒業生等の労働奉仕と苦労があり完成にいたりました。まさに苦労の賜物であり、地域の誇りでもありました。



小学校の裏に残っている旧奉安殿

こうした歳月を踏まえた鹿浦小学校
旧奉安殿は、平成19年8月13日に
に国の登録文化財に登録が決定しました。

与論島



ミコノス島
エーゲ海に浮かぶギリシャの島。
風車が人気の観光スポット。



ギリシャのミコノス市風景

人気のダイビングスポット 海中宮殿



与論町茶花沖 1 km
(水深 18 m の海底)

2003年7月8日

古代ギリシャ宮殿をイメージした
「海中宮殿」が完成。

奄美群島日本復帰50周年・町制施行40周年・
バナウル王国建国20周年を記念して、1999年
から柱1本ずつ（2002年を除く）設置し完成。
水中結婚式などイベントに利用されることが多い。

与論町は、1984年11月4日 ギリシャのミコノス市と姉妹盟約を締結しました。

島の中心市街地を中心に、ミコノス風の白を基調としたまち並み整備をはじめ、
町立中学校の体育館や旅客線の待合所をパルテノン神殿をイメージした造りにするほか、市街地の海岸道路に面したよう壁にミコノス市のまち並みやエーゲ海を描いたレリーフ（5m × 181m）を整備しミコノス通りと命名するなど姉妹都市ミコノスとの友好を深めています。

沖永良部島

日本一のガジュマル 和泊町 国頭小学校



メンバー
募集中

OCI 支援会員

20代限定で 農業・商業・観光・地元のPR・メンバー管理など
若い力と感性で団結力アップや地域活性化など、あらたな挑戦をしたい方

沖永良部島の

イメージキャラクター

ガジュマルくん



ガジュマルくんHP

OCI HP

動画配信ページ

<http://gazyu.com>

<http://gazyu.com/oci/index.html>

<http://www.youtube.com/user/zosehustep>

詳しくはHPをご覧ください

トロピカルフルーツの効能

トロピカルとは”熱帯の”という意味があり、赤道を中心とした南北回帰線に狭まれた地域のことです。熱帯や亜熱帯地方は、バラエティ豊かな熱帯果物の宝庫です。

トロピカルフルーツは、紫外線の強い地域で育まれるため、抗酸化物質を多く含んでおり、また、ビタミンやミネラル、食物繊維などを豊富に含んでいます。

高血圧予防
風邪予防
美容効果
がん予防
老化防止

たんかん



原産地は中国の広東省といわれています。

たんかんには「短桶」の字があてられていて、中国で行商人の持ち歩いた桶がこの由来とされています。

ポンカンとネーブルオレンジの自然交配種のタンゴール類（伊予かん、デコポン等）の一品とされています。



パッションフルーツのパッションは「情熱」という意味ではなく「キリストの受難」のこと。花の形がイエスキリストが十字架にかけられた姿に似ていることからその名が付けられました。日本では花が十字架ではなく「時計」に見えたので「トケイソウ」と呼ばれています。

パッションフルーツ

老化防止
視力保持
高血圧予防
心筋梗塞予防

便秘改善
高血圧予防
動脈硬化予防
心筋梗塞予防
脳梗塞予防
糖尿病予防
がん予防

島バナナ



長さ10～15cm、太さ3cm前後の小型バナナ。味は濃厚で、適度な甘味と酸味があります。



そもそもが日本で栽培されたのは明治時代になってからのこと。それまでは、「酸っぱい桃=酸桃（すもも）として軽んじられていました。本格的に栽培が行われるようになったのは大正時代で、19世紀頃にアメリカに渡ったすももが品種改良されて戻ってきてからのことです。

すもも

貧血予防
高血圧予防
眼精疲労回復
便秘改善

美肌効果
がん予防
貧血予防
便秘改善
高血圧予防
動脈硬化予防
脳梗塞予防
心筋梗塞予防

マンゴー



「ウルシ科」の果物の為、人によっては果汁に触るとかゆくなったり、かぶれたりします。アレルギーのある人は十分注意して下さい。

喜界島

日本一のごま生産

を誇る島

健康効果を感じる摂取量の目安は
1日に大さじ1～2杯(10g～20g)

ごま栽培に合った気候、珊瑚礁から由来するアルカリの土質
100ヘクタールを越える栽培面積。国内最大の産地。

●ゴマグリナン●

ごまにしか存在しない成分。
抗酸化作用をもち、がんや
生活習慣病の予防に効果的。
肝機能を高め、アルコール
から肝臓を守る働きがあり、
美肌や代謝の活性化にもよい。

ごまの天日干し



セサミストリート
(ごま道路)



ごまの花

南の島の貴婦人

保護蝶オオゴマダラ

オオゴマダラ蝶は、マダラチョウ科で、羽には白地に黒のマダラ模様。羽を広げると15cmもある大型の美しい蝶で、優雅に舞う姿から、“南の島の貴婦人”とも呼ばれています。



■重照代の原点(H22.4)



■紙の上の仕事(H22.5)

奄美パークのイベント紹介 (平成22年4月～23年3月)



■わらべシマ唄大会(H22.5)



■けんむんクイズラリー(H22.5)



■あまみっ子フェスタ(H22.5)

春

5月の子どもの日
にちなんで、春の
陽気を屋外の多目的
広場で感じながら
のイベント、「あまみっ子フェ
シマ唄大会」等
など企画展を行う
開催。

奄美関係の作家
「重照代の原点」
教授の森下良三展
市立大学・大学院
「あまみっこフェ
スタ」や、「わら
べシマ唄大会」等
など企画展を行う。

多くの恵みをもたら
してきた奄美の海を
来園者に紹介するイ
ベント「ネリヤカナ
ヤフェスター」を、フ
月の中旬から8月末
まで開催。また、帰
省客や一般観光客へ
向けて地元のバンド
を中心に夏らしい音
楽や舞踊のイベント
「サマーコンサート」
も8月中旬に開催。

奄美関連作家
展や、屋嘉比
寛CG展、本
田紘輝展、本
親子で参加の
スケッチ大会
を実施。

夏

■あれから6年18の夏
“屋嘉比寛CG展”(H22.7)

■サマーコンサート(H22.8)



■奄美の郷ライブステージ(H22.9)

■ネリヤカナヤフェスター
オープニングイベント
(H22.7)

■夏休み親子スケッチ大会(H22.7)



文化講演会 (H22.10)



田中一村 新たなる全貌 オープニングセレモニー(H22.11)



■ フュウンメコンサート(H22.12) ■



■ 奄美の郷ライブステージ (H22.11)



■ 田中一村 新たなる金魏 (H22.11)

秋

収穫祭のフユウ
ンメにちなみ、
稻すり踊り（フ
ュウンメコンサ
ート）や、神田
紅氏による「日
本講談協会会長
になつて」を実
施。

12月には、およそ3プロの人（マス会やプロのマリンバやヴァイオリンの演奏とディナーライズマスコンサートを実施）が参加した子どもクリスマス会やプロのマリンバやヴァイオリンの演奏とディナーライズマスコンサートを実施。

田中一村記念美術館特別展「田中一村新たなる全貌」は、当美術館、千葉市美術館、鹿児島市立美術館が連携し、全国から200点以上の一村の作品を集め、一挙公開したもので、過去最大規模の田中一村展となつた。

普段入ることの出来ない美術館の裏側を親子で探検できる「親子美術館探検」や創作体験教室等を行う。

A man in a dark tuxedo and bow tie is standing at a podium, speaking into a microphone. He is gesturing with his hands as he speaks. The background is a blue wall with white Japanese text.

春まつりーシマジマだより~(H23.2)



初春唄あしひ(H23.1)



親子美術館探検 (H23.1)



■ 創作体験（人物画）教室（H23.2）■



(上)クリスマスコンサート(H22.12)

(下) 子どもクリスマス会 (H22.12)

Park Attendant(PA)さんのヨコガオ

いつも笑顔で奄美パークをご案内。奄美パークのPAさんたちをご紹介します！

プロとしての心得・お気に入りの写真・オフの過ごし方



明るく、さわやかな印象、そして記憶に残る「おもてなし」を念頭に日々モチベーションを上げて挑んでいます。また心地良いと感じる話し方や声のトーン、立ち振る舞い、歩き方など日々研究し心掛けています。



森 布由子

「島と話せる帆ではありません。」

特に予定は立てず、ゆったり、のんびりと過ごします。趣味としてはPCやDVD音楽鑑賞が好きです。またウォーキングや軽い運動を心掛けています。旅行の際には他の施設へ足を伸ばし学べる点が無いか探したりします。

奥深い奄美の魅力を多くの方にお伝え出来るよう、日々勉強中。奄美パークは何度でも訪れたくなる特別な場所、人と自然の温もりが感じられる癒しの空間・・・とお客様に思って頂けるよう、微力ながらお手伝い出来ればと思います。お客様の笑顔が私の元気の源です。



休日は、またりお家カフェでDVD鑑賞&読書三昧。音楽はロックからクラシックまで幅広く聴きます。某ダンスボーカルユニットを愛し続けて10年目！

夏が来るとライブが私を呼んでます！？ご近所のにゃんこに癒されつつ、たそがれるのが大好きです。

重原 美紀子

基本的なことですが、お客様の応対では挨拶やお辞儀、正しい言葉使い等を常に意識しています。

お客様には、奄美パークを楽しんで頂き、奄美をもっと知りたい、また来たいと思って頂けるように奄美の魅力を伝えていきたいと思っています。



大好きな音楽を聴きながら家事をこなしています。家にいるトイプードルの「ティア」を膝に抱いて、読書をしたり、下手なギターを練習することもあります。娘のギターを伴奏に、家族みんなで歌っているときが一番楽しく幸せな時間です。

喜岡 広美

平成23年度 奄美パーク職員紹介



職員研修



奄美パークみどり号





**奄美空港から
名瀬行き路線バス約5分**

**名瀬ウエストコート乗車
空港行き路線バス約5分**

田中一村記念美術館 企画展のご案内

3月

25日(日)～4月15日(日)

ニッコールクラブ奄美群島支部
写真展

4月

22日(日)～5月13日(日)

名瀬美術協会シルバー展

■ 奄美の郷 ■ TEL 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612

■ 田中一村記念美術館 ■

TEL 0997-55-2635 FAX 0997-55-2613

● 開園時間 ● 9:00～18:00

(7・8月 9:00～19:00)

(入園は閉園時間30分前にお願いいたします)

● 休園日 ● 毎月第一・三水曜日 (祝日の場合は翌日)

4月29日～5月5日、7月21日～8月31日、
12月30日～1月3日は開園しております。

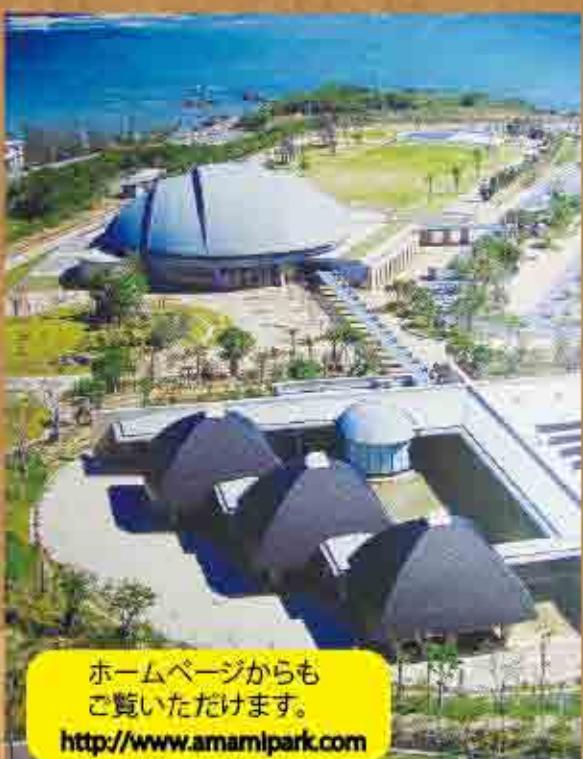
奄美パークだより 第15号

平成24年3月発行

編集人：奄美パーク事業課 吉田由美

発行人：鹿児島県奄美パーク T894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834

TEL 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612 <http://www.amamipark.com>



ホームページからも
ご覧いただけます。

<http://www.amamipark.com>

※本誌掲載の写真、および記事の無断転載を禁じます。